

夢が **花** 咲き **泉**
知の わく



進んで考える子・共に助け合う子・元気でたくましい子

第 14 号
2024. 11. 15
文責：校長（門田）

今週末は「一関地方造形教育美術展」です。

明日、11月16日（9：00～17：00）、明後日17日（9：00～14：30）の2日間、千厩体育館を会場に「一関地方教育美術展」が開催されます。本校からも各学年の図工の授業で制作した作品が出品されます。市内の幼稚園・小学校・中学校・支援学校の作品が展示されます。

本校から作品を出品した児童を紹介します。観覧の際は、上履きの持参にご協力ください。

1年生 立体作品

4年生 立体作品

2年生 平面作品

5年生 平面作品

3年生 立体作品

6年生 平面作品

文集「いわいの子」出品作品紹介 その2

校報13号に続き、文集「いわいの子」に本校から出品した児童の作文を紹介します。

「ならびっこティーボール」

三年二組 ○○○ ○○○



ぼくたちは、ならびっこティーボールというゲームを体育でやっています。ルールもかんたんにおぼえることができます。すぐおもしろいです。

さらにいっしょにやる人が多いほど、楽しさがあがります。

さいしよはむずかしいと思っていただけの回数もやっていると楽しいだけではなく、とても大切なことがわかりました。

まず一つめは「自分が楽しく」です。このゲームはみんなでやるゲームだけど、まず自分が楽しくなければならぬというやくそくがあります。

二つめは「自分のチームの人たちが楽しく」です。さいしよにも書いたけど、みんなが楽しくなければいけないので、自分のチームの人たちが、きょうりよくしたり、はげましたり、おうえんしたりして楽しい気持ちにするゲームです。

三つめは「そこにいる人がみんな楽しく」です。先生や、相手チームのみんなも楽しくするので。そのためには相手のチームでもいいプレーは、ほめたり、はげます言葉を使ったりしてがんばることができるようになります。だからみんなが楽しくなります。

ぎやくに、悪口を言ったり、いやな気持ちになる言葉を言っただめです。だって、みんながきょうりよくして楽しくするゲームだからです。

ぼくたちは三つめのやくそくを大切にしていきます。おたがいに「がんばり」をみとめたり、はげましたりしているのでゲームがすごく楽しいです。たとえば「すごい」言ったり「やったね」と言ったりします。「また、がんばろうね」や「よかったね」と言うと、気持ち楽しくなってきました。しっぱいしてもがんばろうという気持ちになります。

ぼくたちが、体育でならびっこティーボールをしていると校庭がとても楽しい気持ちになります。さいしよはにがてだったぼくも、やるのがすごく楽しくなりました。だからぼくも「よかったね」とか「がんばろう」と言うことができるようになってきました。

今度、親子レクで「ならびっこティーボール」をします。親子レクでも、ぼくたちは楽しくなるがんばりをたくさん出したいと思います。

今からとても楽しみです。

「あきらめないで大せいこう」

三年三組 ○○○ ○○○



「ぼくのせりふが体育かん全部にひびいている！こんな声が出せるなんて、うれしい！」

学習発表会の練習をうつしたえいぞうを見て、そう感じました。これから成こうするぞ、と思いました。でも、練習が始まったころは、うまく声が出せるか、とても心配でした。

ぼくが、練習でがんばったことは、三つあ

ります。まずは、よびかけです。さいしよはみんなうまくできませんでした。でも、家で学校で練習をして、どんどんうまくなっているのが分かりました。ぼくも家の中やおふろの中で練習して、自分のせりふがはつきり言えるようになってきました。でも、ラストの練習でせりふをわすれてうまくできませんでした。さいごの練習なのに、しっぱいするなんて、残念でした。自しんをもっていたけどしっぱいしてあせってきました。

二つ目はリコーダーです。ぼくは、リコーダーがうまくできませんでした。だけで、家と学校で何度も練習しました。むずかしいけど、がんばりました。しっぱいしても自分ならできると思って、練習しました。

さいごは、歌です。きれいに、大きな声で歌うことを心がけました。ぼくたちが歌った曲は「ふるさと」です。ぼくは「やさしさ広げてまってる」という歌がすきです。三年三組のみんなも、やさしくて、いつもぼくのことを待っていてくれるから、三組のことを思い浮かべながら歌うと、ウキウキしてきます。

本番、自分のせりふが、体育かん全部にひびいている感じがしました。お客さんに自分のせりふが伝わったと思いました。とてもうれしかったです。ぼくも、みんなも、え顔で教室にもどりました。きつとみんなも、せいこうできてうれしんだと思いました。せいこうのあかしに、先生からグッジョブカードをもらって、やった！と心が動きました。心配でも、あきらめないで練習してよかったです。そして、できなかつたリコーダーもでき

るようになるなんて、自分でも成長できたんだなと思いました。

「心ひとつにしましょう」

という、学級会長のじょう太郎君のめあてをきいて、三年生のみんなが

「ぜったいに成こうさせるぞ。」

という気持ちになることができました。三年生全体が成長できて、とくべつな学習発表会になりました。

「大切なことはみんなが幸せにくらすこと」

四年一組 ○○○○○○



私は、総合的な学習で、「福祉」の勉強をして、福祉の大切さを学びました。一回目の学習会では、「にん知症」の学習をして、相手をせめずに優しく話を聞いてあげることが大切だと分かりました。

私の家でも、ひいおじいちゃんがわすれっぽくなっています。電気を消し忘れ、ひいおばあちゃんやおばあちゃんに「また消しわすれてるよ」と言われます。ひいおじいちゃんも「はいはい」と言いますが、だんだんあいまいな返事になります。注意しても同じことをくり返してしまいます。「通じてるの」とだんだん強い口調で言われます。私は、そのことに対してどうしてすぐにわすれてしまうのかとイライラしたこともありました。また、よく病院からしよほうされたお薬を飲み忘れることがあります。だから、その時、家族が飲み忘れないように小さなビニルぶくろに入

れて、日にちと朝、昼、夜どの時間帯で飲むのかを書いてあります。その小さなビニルぶくろのお薬をおじいちゃんにわたしている時、わたしは「これも福祉かも」と思いました。私はこれまでは体が不自由な人だけを助けるのが「福祉」だと思っていました。おじいちゃんのような忘れっぽい人を助けるのも「福祉」だと分かりました。

学習会でにん知症については、「二つ目は、まず見守る。二つ目は、余裕を持って対応する。三つ目は、相手の言葉に耳をかたむけて、優しい口調でゆっくり話す。四つ目は、自尊心をきずけない。」と言うことを学びました。私は、つい強く言ってしまうことがあります。だから、これからは、ひいおじいちゃん、ひいおばあちゃんやおじいちゃん、おばあちゃんの話に耳を傾けて話を聞いてあげよう、優しくせつしていいこうと思います。

他にも、聴覚障がいのある人や視覚障がいのある人の生活についても学習しました。その中で、視覚障がいの方が、白杖を高く上げていたら困っているサインだと知りました。いろいろな障がいのある方が困っていたら、声をかけたり手助けをしたりすることは私でもできると思います。だから、お金をかけて何か特別なことではなく、自分ができるかぎりのことをしていきたいと思えます。

学習を通して知ったことや考えたことをここのからの日常に活かしていけたら、ひいおじいちゃんも家族の中で幸せにくらすことができると思います。そして、家族だけでなく、周りの困っている人にも優しくせつしていきたいです。

「がんばった学習発表会」

四年二組 ○○○○○○



私が学習発表会ががんばった事は二つあります。

一つ目は、せりふです。体育館の一番後ろまでひびくように、大きな声でいきました。

また、せりふがお客さんにしっかりと伝わるように、区切りながら言うことも意識しました。練習では注意されることもあったけど、本番ではしっかりとせりふを言えたので良かったと思います。

二つ目は、合唱です。練習では、先生に目や口の開け方や、息のすい方、声の出し方に気をつけて歌うと上手になると教えてもらったので、そこに気をつけました。練習をしていくうちにどんどんきれいに歌えるようになってきました。十一月七日の音楽発表会でも、きれいな声で歌えるようにがんばりたいと思います。

直したいところもあります。それは、発表するときのしせいです。歌っているときに、手や体がブラブラ動いてしまいました。来年の学習発表会では、まっすぐ立って発表できるようにがんばります。

学習発表会には、妹も来てくれました。お母さんがカメラでさつえいしている間も、うれしそうにはしゃいでいました。それを見ただわかしもうれしくなって、ついニコニコしてしまいました。妹に楽しんでもらえたのでよかったです。

音楽発表会には、学習発表会には来れなかったおばちゃんも一緒に来てくれます。だか

